

井堤里は玉水の宿のひがしなり。井堤左大臣橋諸兄公の旧跡は、此里の南に石垣村といふあり、此所のひがし上村の山本にあり。岩の松中島はむかしの泉水の跡にして、今は田の字となりぬ。昔紅の藤ありて、其残苗今此地にあり。又井手の蛙はこゝに限りて色は少し黒きやうに見え、形はいと大きにもあらず、よの常の蛙のやうに踊りありく事も侍らず、常に水にのみ住て、夜更るほどに鳴つれたるはいみじう心も清て、物哀なる声にてなん侍りける。〔无名抄意取〕

後 撰 かくれぬに忍びわびぬる我身かな井手の蛙となりやしなまし

忠 房